

2026年度 一般選抜 学力検査 (選択科目)

FW1

世

世界史探究

解答番号 ~

【1】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

戦争は、その時の国際関係や各国の内政の状況によって起こるものだが、他方では、戦争自体が、その後の当事国の内政や国際秩序に大きな影響を与えるものでもある。いわば、その後の歴史を転換させる働きさえする場合がある。そのような意味で、世界史的に見て重要だと思われる戦争のいくつかをみてみよう。

古代オリエントにおいては、(a) 前 13 世紀頃、シリアの支配権をめぐるラメス 2 世がカデシュでムワタリと戦ってのちに講和条約を結んだ。これは記録として残る最古の講和条約である。

古代ギリシアでは、前 5 世紀にアケメネス朝ペルシアの侵攻に対抗してアテネやスパルタなどがギリシア連合軍を結成し、ペルシア戦争を戦った。前 480 年のサラミスの海戦では、アテネを中心とする連合艦隊がペルシア軍に勝利し、戦局を大きく転換させたばかりでなく、(b) その後のギリシア全体およびアテネ内部の政治状況にも大きな影響をもたらした。

中国においては、周が衰えた後、(c) 大国であった晋が 3 国に分裂し、前 403 年にはこの 3 国の君主が周から諸侯と認められた。戦国時代の始まりである。この戦国時代においては、七雄とよばれる諸国が相争ったが、やがて、その中から(d) 秦が有力となり、前 221 年、中国を統一し、秦王政は始皇帝として即位した。しかし、始皇帝の死後、反乱が相次ぎ、再び、中国は戦乱状態に陥った。前 202 年、垓下の戦いで項羽を破った劉邦が中国を再度統一し、皇帝として即位した。漢王朝の成立である。この漢の時代に、皇帝が官僚や儒学に支えられて統治するという、20 世紀まで続く中国的国家体制が形作られることになる。

中世ヨーロッパでは、1095 年、教皇ウルバヌス 2 世が、**A** 宗教会議を招集し、聖地回復の聖戦を起こすことを提唱した。これによって、翌 1096 年、十字軍の遠征が始まった。第 1 回十字軍である。その後数回にわたって起こされることになる十字軍は、一時的には聖地エルサレムを奪うことに成功するが、最終的にはエルサレムもイスラーム勢力に奪い返され、失敗に終わる。しかし、十字軍はその後の(e) 西ヨーロッパ内部の秩序が大きく変容を遂げていくきっかけを与えたといえる。

十字軍の起こした戦争は、キリスト教とイスラームという異文化の間の戦いで

あった。異文化間の戦争ということで、大きな影響力を持ったもう一つの例が、751年の^(f)タラス河畔の戦いである。^(g)製紙法の伝播という世界の文化史をある意味変える出来事が起こったからである。

その後、14世紀から15世紀にかけては、フランスで **B** が断絶したことに對し、イギリス国王が王位継承権を主張したことから、イギリスとフランスの間で百年戦争が起こった。この長期にわたる抗争の後、当事国であるフランスとイギリスはやはり大きく変容していくことになる。^(h)絶対王政への道が開かれたのである。

さらに、1618年に神聖ローマ帝国領内のベーメン(ボヘミア)で起きた反乱をきっかけに、三十年戦争が起こった。この戦争は1648年のウェストファリア条約で終結したが、⁽ⁱ⁾この条約はヨーロッパ史上、非常に大きな意味を持った条約であると考えることができる。

20世紀では、1914年から1918年までの^(j)第一次世界大戦の重みを忘れるべきではない。19世紀後半、40年ほど戦争のない時代を経験し、文明の頂点に達していると自負していたヨーロッパ社会が、人類がこれまで経験したことの無い凄惨な戦争を引き起こしてしまったのである。それは文明を築くのは人間の理性であるという楽観的な見方に深刻な反省を強いるものであった。人間が日常では意識できない^(k)深層心理が人間を突き動かしているのであり、それが場合によっては戦争なども引き起こすことになるのではないか、という反省が生まれたのである。

問1 下線部(a)について、この講和条約を結んだ国家の組み合わせとして正しいものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**1**。

- | | |
|----------------|--------------|
| ① エジプトとヒッタイト | ② エジプトとアッシリア |
| ③ ヒッタイトと新バビロニア | ④ アッシリアとミタンニ |
| ⑤ アッシリアと新バビロニア | |

問9 **B** に当てはまるフランスの王朝はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**10**。

- ① ヴァロワ朝 ② カペー朝 ③ ブルボン朝
④ プランタジネット朝 ⑤ ノルマン朝

問10 下線部(h)について、イギリス（イングランド）では百年戦争後、国内でバラ戦争が起こった。この内乱を收拾してチューダー朝を開き、イギリス（イングランド）における絶対王政への道を開いた国王は誰か。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**11**。

- ① ヘンリ2世 ② ヘンリ3世 ③ ヘンリ7世 ④ ヘンリ8世

問11 下線部(i)に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**12**。

- ① ヨーロッパにおける主権国家体制が確立した。
② オランダとスイスの独立が正式に認められた。
③ ハプスブルク家はアルザスを獲得し、フランスに対する優位が決定的になった。
④ 神聖ローマ帝国でルター派が公認され、さらにカルヴァン派も公認された。
⑤ ドイツの各領邦国家に独自の外交権が認められ、神聖ローマ帝国は形骸化した。

問12 下線部(j)について、第一次世界大戦の直接の引き金となった1914年6月に起こった暗殺事件はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**13**。

- ① ブーランジェ事件 ② サッコ・ヴァンゼッティ事件
③ 血の日曜日事件 ④ サライェヴォ事件 ⑤ カティンの森事件

問13 下線部(k)について、第一次世界大戦前から人間を動かしているものとしての深層心理に着目し、精神分析学を打ち立てた人物は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**14**。

- ① ニーチェ ② マルクス ③ マックス=ヴェーバー
④ フロイト ⑤ サルトル

【2】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。(配点 25 点)

(a) 907年に唐は滅亡した。その後、50年以上にわたって、中国では五代十国と呼ばれる混乱の時代が続いた。また、(b) 10世紀はキタイ(遼)の建国に見られるように、中国周辺の諸地域・諸国家の再編成の時代でもあった。

五代十国の時代を終わらせたのは宋であった。960年、趙匡胤(初代太祖)によって建国された宋は、第2代太宗の時代には中国の統一を成し遂げた。しかし、統一とは言いながら、燕雲十六州はキタイ(遼)に奪われたままであったし、1004年には宋はキタイとの間で毎年多額の銀や絹を贈る内容の澶淵の盟を結ばざるを得なくなった。これによって宋の北方は一時的な安定を得たが、財政上の負担は大きいものとなった。

11世紀後半に宰相の王安石は、財政改善のための(c) 新法を実施したが、これに反対する勢力も強く、新法党と(d) 旧法党との対立が激化し、政治の混乱を招くこととなった。

12世紀に入ると北方では **A** 系の女真(ジュシェン)の金が台頭し、1125年にはキタイ(遼)を滅ぼし、さらに南下して、(e) 宋(北宋)の都を占領し、皇族を捕虜とし北方へ連行した。宋の皇族の一部は江南に逃れ、**B** を都として宋を再建した。南宋である。

13世紀に入ると、北方ではモンゴルが勢力を増し、大モンゴル国が建国された。(f) 1234年に金が大モンゴル国と南宋の挟撃によって滅びると、今度は、南宋が大モンゴル国の攻撃にさらされることになった。1271年に中国式名称の国号、大元(元)を採用したクビライは南宋に対する攻撃を本格化させ、ついに1276年南宋は滅んだ。残存勢力はなおも抵抗を続けたが、1279年の厓山の戦いでこれも壊滅した。

かつて中国史家の宮崎市定は、宋の時代を、西洋における近世の始まりを告げた(g) ルネサンスにも比すべき中国のルネサンスの時代だととらえた(注)。その説の当否は別としても、宋の時代は、社会的・経済的にも文化的・思想的にも中国史の中で一つの画期をなしていると考えることができる。経済的には、江南の発展を基礎に商工業が活性化し、その結果、貨幣需要が高まり、大量の銅銭が発行されるとともに、北宋の時代には交子という紙幣も発行された。また、中国商人の海上進出

も活発化し、宋は市舶司を^(h)各地の港において海上交易の管理に努めた。文化・思想の面でいうと、宋は、文治主義の立場にたっており、科挙によって選ばれた文人官僚が政治の実際を担う傾向が強かったため、科挙に合格しうる教養、とりわけ儒学の教養を身につけた士大夫が社会の指導者層として重きをなすようになった。そして、そうした士大夫にふさわしい思想が探究され、⁽ⁱ⁾儒学思想の新たな潮流が登場したのである。

注：宮崎市定『中国史（上）』岩波文庫、2015年

問1 下線部(a)について、唐を滅亡させ、五代の一つ、後梁を建国した人物は誰か。

次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、15。

- ① 史思明 ② 李自成 ③ 呉三桂
④ 朱全忠 ⑤ 安禄山

問2 下線部(b)について、[1]907年キタイ（契丹）の諸部族に推されて遊牧民の長となり、916年には中国風に皇帝を称した、キタイ国（契丹国）、後の遼の創建者とされる人物は誰か。[2]10世紀における中国周辺諸地域・諸国家の状況に関する記述として誤っているものはどれか。[1]は①～④の中から、[2]は①～⑤の中から、それぞれ一つ選びなさい。解答番号は、16・17。

- [1] ① 完顔阿骨打 ② 李元昊 ③ 石敬瑭
④ 耶律阿保機

16

- [2] ① 「海東の盛国」と呼ばれた渤海が滅んだ。
② 雲南地方で白蛮系の豪族が大理を建国した。
③ オルドス地方でモンゴル系のタンゲート人が西夏（大夏）を建国した。
④ 王建の建てた高麗が朝鮮半島を統一した。
⑤ キタイが、五代の一つ、後晋の建国を援助した代償として燕雲十六州を獲得した。

17

問3 下線部(c)について、新法に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**18**。

- ① 傭兵制にかわる兵農一致の強兵策として保甲法を作った。初期は警察の任務を負わせたが、後には、農閑期に軍事訓練を施し、民兵として機能するようにした。
- ② 貧農救済を目的として、植え付け時に低利で金銭を貸し付け、収穫時に原則として穀物で返済させる、青苗法を実施した。
- ③ 地方官庁の労役を担わせていた上・中層農民からは免役銭を、またこうした労役を免じられていた官僚や商人からは助役銭を徴収し、これらを財源として労役従事者に雇賃を払う市易法を実施した。
- ④ 物価安定と物資の流通円滑化を目的として、各地の特産物を政府が買い上げ、輸送させ、不足地に転売して政府の利益をあげようとする均輸法を実施した。
- ⑤ 財政負担を少なくして軍馬を確保するため、財産高に応じて民間で軍馬を養わせる保馬法を実施した。

問4 下線部(d)について、[1]旧法党の中心人物であった司馬光が編纂に携わった史書はどれか。[2]王安石の新法に反対した文人・政治家で、豪放な詩・文・詞で知られ、唐宋八大家の一人に数えられる人物は誰か。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**19**・**20**。

[1] ① 『資治通鑑』 ② 『史記』 ③ 『漢書』

④ 『三国志演義』 ⑤ 『新唐書』

19

[2] ① 欧陽詢 ② 韓愈 ③ 白居易

④ 柳宗元 ⑤ 蘇軾

20

問5 **A** に当てはまる言葉はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**21**。

① チベット ② トルコ ③ ソグド

④ イラン ⑤ ツングース

問6 下線部(e)について、[1]1126年から1127年にかけて起こったこの出来事は何と呼ばれるか。[2]金に連行された宋の皇族の一人に、「風流天子」と呼ばれたほどの書画の大家で「桃鳩図」を代表作とする元皇帝(連行当時上皇)がいる。この北宋の皇帝は誰か。それぞれ、①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**22**・**23**。

- [1] ① 土木の変 ② 靖康の変 ③ 靖難の役
④ 永嘉の乱

22

- [2] ① 高宗 ② 欽宗 ③ 徽宗
④ 神宗

23

問7 **B** に当てはまる都市はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**24**。

- ① 開城 ② 臨安 ③ 建康
④ 燕京 ⑤ 開封

問8 下線部(f)について、金滅亡時、大モンゴル国のカアンと称していた人物は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**25**。

- ① オゴデイ ② グユク ③ バトゥ
④ フレグ ⑤ モンケ

問9 下線部(g)について、13世紀末から14世紀にかけてフィレンツェで活動し、「聖フランチェスコの生涯」を描いた、ルネサンス絵画の先駆者とされる画家は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**26**。

- ① ミケランジェロ ② ラファエロ ③ レオナルド＝ダ＝ヴィンチ
④ ジョット ⑤ ボッティチェリ

問10 下線部(h)について、宋の時代に市舶司がおかれた海港都市の中で、清の乾隆帝の時代には唯一、ヨーロッパ船の来航が認められる港になり、かつ1839年、林則徐がアヘンの没収と廃棄を強行した結果、1840年からのアヘン戦争の起点となった海港都市はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**27**。

- ① 泉州 ② 広州 ③ 明州
④ 蘇州

問11 下線部(i)について、南宋の儒学者朱子に関する記述として正しいものはどれか。

次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、28。

- ① 実証を重視し、広く確実な古典の収集と厳密な考証により、儒学の古典を実証的に極めようとした。著書として『五経正義』がある。
- ② 儒学の古典として『易経』と『中庸』を軸に、道德論を宇宙哲学から基礎づけようとした。著書として『太極図説』がある。
- ③ おのれの心を養い、天地との一体化を重んじる「心即理」を唱え、後世に大きな影響を及ぼした。著書として『儒林外史』がある。
- ④ 「格物致知」を重視し、君臣・父子間の道德の重要性を説いた。儒学の古典に関しては、四書を五経の上においた。著書として『四書集注』がある。
- ⑤ 知識偏重に反対する立場から「知行合一」を唱え、万人に本来備わっている良知を重視し、実践の必要性を説いた。著書として、『日知録』がある。

【3】 次の(1)・(2)の文を読んで後の問いに答えなさい。(配点 25 点)

(1) イベリア半島の西端に位置するポルトガルの始まりは、^(a) レコンキスタにある。モンデーゴ川以北の二つの辺境伯領から始まったポルトガルは、拡大を続け、1143年、アフォンソ1世は主君であった、カスティリャ=レオン国王(当時カスティリャとレオンは統合されていた)から国王としての地位を認められ、さらに、1179年には、ローマ教皇からも国王としての地位を認められた。こうしてポルトガル王国は成立したが、その後も南方への領土拡大を続けた。これには、十字軍や^(b) テンプル騎士団などの宗教騎士団の力もあずかっていた。たとえば1147年には、十字軍の部隊の援助を得てリスボンをイスラーム勢力から奪っている。その結果、1297年には、ほぼ、現在まで存続する国境線を確保するようになった。

15世紀になると、ポルトガルは、海洋における南下政策をとるようになり、やがてインドへの航路を開拓することを目指すようになる。1498年、ヴァスコ=ダ=ガマがインドに到達し、ヨーロッパとインドを直結する航路が開かれ、さらには、その先の^(c) 日本にまでポルトガルは進出することになった。

1580年、^(d) スペイン国王がポルトガル国王に即位し、スペインによるポルトガル併合が実現した。その後、17世紀に入ると、スペインがポルトガルに重税を課すようになったこともあって、ポルトガルの独立の機運が高まった。スペインとの戦争が生じたが、イギリスの支援を受け、1668年、スペインと平和条約を締結し、独立を回復させることができた。しかし、その後は、イギリスへのとりわけ貿易面での従属が目立つようになる。1703年、ポルトガルはイギリスとの間に通商条約であるメシュエン条約を結んだ。その結果、特産品のワインの輸出は増加したが、逆に毛織物の輸入が増え、対英貿易赤字に苦しむようになった。**A**は、まさにこのポルトガル産のワインとイギリス産の毛織物の生産費を比較して、それぞれが特産品生産に特化して自由貿易を行うことが、両者にいずれにとっても有利であるとする比較生産費説を唱え、自由貿易体制を擁護したのだった。

1755年11月1日、ポルトガルのリスボンを激震が襲い、多数の犠牲者を出した。このリスボン大地震に衝撃を受けたフランス啓蒙思想の代表者の一人^(e) ヴォルテールは、「今日すべては善だ」とする楽観主義を戒める作品『カンディッド』を執筆することになる。

(2) ポルトガルによるブラジル領有は、インド航路開拓の試みの副産物であった。最初にインド航路を開いたヴァスコ＝ダ＝ガマに続いてインドを目指したポルトガルの航海者 **B** の艦隊が 1500 年にブラジルに漂着したのがきっかけだった。一応、すでに 1494 年に結ばれていたトルデシリャス条約にもとづいてポルトガル領と認められたのだが、植民が本格化したのは 16 世紀半ば頃からである。商品作物としてのサトウキビ栽培が本格化し、17 世紀には、世界最大規模になっていた。このサトウキビ栽培の労働力としてアフリカから奴隷の輸入が行われ、その供給源としていた地域がアンゴラだった。アンゴラをめぐるのはオランダとの争奪戦となったが、ポルトガルは 17 世紀後半にはオランダ人を駆逐することに成功した。^(f) アンゴラがポルトガルの植民地の地位を脱し、独立が達成されたのは 1975 年のことであつた。

ブラジルは 1822 年にポルトガルからの独立を果たした。ナポレオン戦争下、ポルトガル王室はイギリス海軍に護衛され、ブラジルに退避していた。その後、ポルトガル王ジョアン 6 世が 1821 年にポルトガルに戻った時に摂政の地位に就いていた王子ペドロは戻らず、1822 年ブラジル皇帝に即位した。したがって、ブラジルは帝国としてポルトガルから独立したのである。^(g) モンロー大統領 のアメリカ合衆国は他国に先んじてブラジルの独立を承認したが、ポルトガルがブラジル独立を認めたのはようやく 1825 年のことであつた。

問1 下線部(a)について、[1]再征服を意味するレコンキスタがイベリア半島で起きたのは、そもそも711年にこの地を支配していた西ゴート王国がイスラーム勢力に滅ぼされたことによる。このイスラーム勢力はどの王朝のものか。[2]西ゴート王国後半の都で、イスラーム勢力に支配された後、11世紀後半にキリスト教国のカスティリヤに再征服され、その都として、12～13世紀にかけて、古代ギリシア語の文献やアラビア語からラテン語への翻訳が盛んに行われ、いわゆる12世紀ルネサンスにおいて大きな役割を果たした都市はどれか。[1]は①～⑤の中から、[2]は①～④の中から、それぞれ一つ選びなさい。解答番号は、**29**・**30**。

- [1] ① セルジューク朝 ② アイユーブ朝 ③ マムルーク朝
④ ハルジー朝 ⑤ ウマイヤ朝

29

- [2] ① グラナダ ② トレド
③ サンティアゴ=デ=コンポステーラ ④ コルドバ

30

問2 下線部(b)について、テンプル騎士団は最終的には王権の強化に努めたフランス国王フィリップ4世によってその財産を奪われ、解散させられた。このフィリップ4世に関する記述として正しいものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**31**。

- ① イギリス王ジョンからフランス国内の領土を奪った。
- ② 聖職者・貴族・平民の代表からなる身分制議会である全国三部会を初めて開いた。
- ③ アルビジョワ派を制圧し、南フランスを王領に加えた。
- ④ 百年戦争において、カレーを除いて、国内からイギリス軍を駆逐し、さらに、常備軍の設置に努めた。
- ⑤ イタリアの覇権をめぐる神聖ローマ皇帝と争い、ナポリ王国の継承権を主張してイタリアに侵入した。

問7 **B** に当てはまる人物は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**37**。

- ① バルトロメウ=ディアス ② カブラル ③ バルボア
④ アメリゴ=ヴェスプッチ ⑤ カルティエ

問8 下線部(f)について、[1]アンゴラの独立には、ポルトガルに独裁政治を行っていた人物が1970年に死亡し、その数年後の1974年に軍部による無血クーデタでポルトガルの民主化が達成されたことが大きく影響している。30年以上にわたってポルトガルで独裁政治を行ったこの人物は誰か。[2]アンゴラは独立後すぐに、独立勢力の分裂によって内戦状態に陥った。2002年にようやく停戦にこぎつけたこの内戦に関する記述として正しいものはどれか。それぞれ、①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**38**・**39**。

- [1] ① フランコ ② ピウスツキ ③ サラザール
④ ホルティ **38**

- [2] ① ツチ人が結成した愛国戦線がフツ人中心の独立政府から離反し、内戦状態に陥り、愛国戦線が勝利して2002年に政権を握り、内戦は終了した。
② 独立直後、ウラン・コバルトなどの資源の独占を狙ったカタンガ州が独立を宣言することで内戦状態になり、首相のルムンバが殺害されるなどしたが、2002年に停戦に至った。
③ 独立直後から内戦状態になり、キューバや南アフリカの軍隊が参戦するなど、米ソの代理戦争の様相を示したが、冷戦の終結後、2002年に停戦に至った。
④ 独立直後から、権力を握っている北部のアラブ系イスラーム教徒に対して、南部の黒人系の勢力が分離独立を主張して内戦が生じたが、2002年に至って、南部が分離独立することで、決着を見た。 **39**

問9 下線部(g)について、モンロー大統領が1823年に発したモンロー宣言に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、40。

- ① アメリカ合衆国は独立を達成した中南米諸国に対して介入と干渉を行わないとする、善隣外交の方針を示した。
- ② 中南米地域はアメリカ合衆国の支配圏であり、それに抵抗する中南米の国家に対しては強硬姿勢も辞さないとする、いわゆる「棍棒外交」の方針を示した。
- ③ 中南米はアメリカ合衆国の経済権益圏であり、ドルの力で中南米諸国を合衆国につなぎとめる外交方針を示した。
- ④ 西半球に対するヨーロッパ諸国の干渉を認めず、逆に合衆国はヨーロッパ内部の問題に干渉しないとすることで、孤立主義的ながら、間接的には中南米諸国の独立を支援する外交方針を示した。

【4】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

関税の起源は極めて古く、「大洪水以前の形態」とも称される。最初期は橋や港などの利用料・手数料の形で徴収されていたが、次第に強制的かつ租税的な性格を持つ「関税」へと転化していった。古代エジプトやローマなどに関税の存在を示す記録もある。(a) 西ローマ帝国の崩壊後、ヨーロッパでは一時商業が衰退するが、(b) 中世の封建制度が確立したのち、商業が次第に復活するとともに関税は復活した。通行税や城門税、河川税などが徴収され、14世紀には多数の税関が設置されていた。当時の関税は主に国内流通商品に課され、「内国関税」と呼ばれる性格が強かったが、重複課税が商品の流通や産業発展を妨げたため、外国貿易は海港都市を中心に発展した。北方貿易圏では(c) ハンザ同盟が成立し 14世紀に最盛期を迎えた。

15～16世紀の(d) 地理上の発見と商業革命は、封建制度の崩壊と資本主義時代の到来を促し、(e) 中央集権的な国家形成が目指された。関税制度にも大きな変化が生じた。商品経済の発展と国内市場の統一に向けて、商品流通を妨げる内国関税の撤廃が進められ、国境を基準とする国境関税へと移行した。こうした関税制度は、(f) ヨーロッパ諸国の商業上の覇権をめぐる競争激化に伴う重商主義政策の一環であったということが出来る。

18世紀後半からの(g) 産業革命によって工場制機械工業が台頭すると、国内市場を制覇した産業資本は新たな外国市場を求め、自由貿易を志向するようになる。イギリスでは1820年の商人請願を契機に、収入目的に限定した関税政策への転換が始まり、(h) グラッドストンらの主導により段階的な関税引き下げが実施された。1860年には大多数の品目の関税が撤廃・軽減され、自由貿易体制が完成した。英仏通商条約も締結され、ヨーロッパ中心の国際的自由貿易網が形成された。しかし、1873年の恐慌と長期不況の影響で国際競争が激化し、アメリカやドイツではカルテルやトラストといった独占資本が誕生した。これら新興勢力は国内市場の独占を守るため高関税を導入し、保護関税は育成目的から「カルテル関税」へと変質した。結果として両国は重工業で躍進し、イギリスの工業上の優位は失われていった。

19世紀末以降、帝国主義列強は国内の独占利潤を活用し、ダンピングにより市場を拡大しようとした。さらに(i) 植民地獲得をめぐる対立が激化し、それにヨー

ロッパ内部の民族運動の対立もあいまって、第一次世界大戦が勃発した。大戦後、とりわけ、1929年の世界恐慌の勃発を受けて、世界で「関税戦」が展開されることになった。世界一の債権国となったアメリカも保護関税を強化し、1930年の(j) スモート=ホーリー関税法で過去最大の関税障壁を築いた。イギリスも1932年に自由貿易を放棄し、大英帝国経済圏を形成した。各国は為替ダンピングや輸入制限、為替管理などの直接統制を導入し、世界経済はブロック化し、これが結局、第二次世界大戦へとつながることになった。その反省を踏まえ、戦後の自由貿易体制構築に向けて大戦中の1944年に **A** で国際通貨基金と国際復興開発銀行を設立する協定が締結された。同じく、戦後の世界経済秩序にかかわるものとしては、1947年成立の(k) GATT (関税と貿易に関する一般協定)がある。正式な国際機関ではないが、戦後の自由貿易体制の中核を担い、世界経済の繁栄に貢献した。

問1 下線部(a)について、西ローマ帝国に関する記述として正しいものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**41**。

- ① ディオクレティアヌス帝の長子アルカディウスに始まる。
- ② ミラノ勅令にてキリスト教を公認した。
- ③ ゲルマン人傭兵隊長オドアケルによって滅ぼされた。
- ④ 異民族の侵入に対処するため四帝分治制を採用した。
- ⑤ クローヴィスがカトリックへ改宗したことでゲルマン人の改宗がすすんだ。

問4 下線部(d)について、地理上の発見と商業革命に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**45**。

- ① 北イタリア諸都市による地中海を中心とした東方貿易（レヴァント貿易）が衰退した。
- ② ポルトガルが南米のポトシ銀山などで採掘した大量の銀がヨーロッパに流入し、商業革命が起きた。
- ③ マゼランは現在のメキシコに進軍しインカ皇帝アタワルパを殺害しインカ帝国を滅ぼした。
- ④ 香辛料をめぐる争奪戦が繰り返されたマルク諸島は、アンボイナ事件後イギリスが支配下においた。

問5 下線部(e)について、17世紀からの、中央集権国家の形成を目指したヨーロッパ各国に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**46**。

- ① モスクワ大公国ニコライ1世は、直属の貴族を官僚に任用し、大貴族を抑え、皇帝への権力を集中するツァーリズムを確立した。
- ② スウェーデンは、三十年戦争で西ポンメルンを獲得し、バルト海地域の覇権を握った。
- ③ ルイ14世のもとフランスは、マザランが国政を担い、高等法院や貴族層によるフロンドの乱を鎮圧した。
- ④ イギリスは名誉革命時の議会において、「権利の章典」を制定するなどして、議会の王権に対する優位を確認し、立憲王政の制度を整えた。

問6 下線部(f)に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、47。

- ① イギリスでは、エリザベス1世による特許状によって、特権的貿易会社としての東インド会社が成立した。
- ② オランダでは、17世紀初頭に多数の会社が連合する形で東インド会社が成立し、ジャワ島のバタヴィアを拠点として香辛料貿易を独占した。
- ③ イギリスは17世紀半ばに航海法を制定しイギリスとその植民地への外国船の入港を排除した。
- ④ フランスは、17世紀後半にインド東海岸のボンディシェリを占領し、そこをインド経営とアジア貿易のための東インド会社の拠点とした。
- ⑤ フランスでは、17世紀後半、ルイ14世に財務総監に任じられたボシュエが、王立マニュファクチュアを設立するなどの重商主義政策を推進した。

問7 下線部(g)について、産業革命に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、48。

- ① ダービー父子はコークスの使用による高温燃焼の技術を開発し、高純度製鉄を可能にした。
- ② 工場制機械工業に反発する手工業者・労働者は機械を破壊する打ちこわし運動、すなわち、ラダイト運動を展開した。
- ③ ディズレーリは、「世界の工場」という言葉を用いて、産業革命の結果獲得されたイギリスの工業力の優位性を示した。
- ④ マンチェスターは、近くにランカシャー炭田地帯を有し、産業革命における綿工業の中心地として発展した。
- ⑤ ワットは炭坑の地下水くみあげポンプに蒸気機関を動力源として利用することに成功し、それを受けてニューコメンがさらに改良を加え、蒸気機関が広範囲の機械に使用できるようにした。

問8 下線部(h)について、グラッドストーン内閣に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**49**。

- ① 都市部の労働者の大部分に選挙権が拡大される第2回選挙法改正を行った。
- ② 国民意識を労働者階級にまで広げることを目的として、公立初等教育学校の増設を定める教育法を成立させた。
- ③ アイルランドに自治権を付与することを認めるアイルランド自治法案を成立させた。
- ④ 「インドへの道」を確保するため、エジプト総督所有のスエズ運河会社株の取得に成功した。

問9 下線部(i)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**50**。

- ① イタリアがチュニジアを保護国化し、それにフランスが反発した。
- ② フランスがエチオピアの領有を目指して侵攻したが、イタリアがエチオピアを支援したため、フランスは撤退した。
- ③ アフリカ縦断政策をとっていたイギリスと横断政策をとっていたフランスがナイル河畔のファショダで遭遇し、一触即発の危機に陥ったが、フランスが譲歩した。
- ④ アメリカはカリブ海および太平洋地域での支配権拡大を目指し、スペインとの戦争に勝利し、スペインからハワイを獲得した。
- ⑤ ドイツがモロッコの保護国化をもくろんだのに反発したフランスが、居留民保護を口実に軍艦をモロッコのアガディール港に派遣したため、国際的緊張が高まった。

問10 下線部(j)について、高率関税を課して農産物価格の引き上げをはかった同法によって、世界恐慌をより深刻化したとされる。このスムート=ホーリー関税法成立時の大統領で、1929年の就任時には「永遠の繁栄」を宣言した大統領は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**51**。

- ① ウィルソン
- ② フーヴァー
- ③ トランプ
- ④ マッキンリー
- ⑤ フランクリン=ローズヴェルト

問11 **A** に当てはまる地名はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**52**。

- ① ブレトン=ウッズ ② マルタ ③ マーストリヒト
④ サンフランシスコ ⑤ プレスト=リトフスク

問12 下線部(k)について、GATTに関する記述として誤っているものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**53**。

- ① ダンバートン=オクス会議で設立協定が締結された。
② 国際的な自由貿易の維持・拡大を目的とした。
③ 関税の引き下げを目指した。
④ 各種輸出入規制の撤廃を目指した。
⑤ のちにこれを受け継ぐものとして、世界貿易機関が設立された。